

# ほのぼの通信

社会福祉法人まりも会

清瀬療護園

広報紙

## 副施設長就任のごあいさつ

清瀬療護園 副施設長 穂苅信良

日頃より「清瀬療護園」に  
対して、ご利用者様をはじめ  
ご家族の皆様、地域の皆様、  
関係する多くの方々にご温かい  
ご支援とご協力を頂き、心か  
ら厚くお礼申し上げます。

この度、令和5年4月1日  
付けで社会福祉法人まりも会  
「清瀬療護園」副施設長に就



任いたしました。

私にとっては身に余る重責  
ではございますが、ここ清瀬  
療護園で19年にわたるご利用  
者様への支援（介護）の経験  
を生かし、今後とも精一杯の  
努力をしていきたいと思いま  
す。

私は清瀬療護園に入職し、  
いくつかの業務を経験させて  
頂き様々なご利用者様やご家  
族様、地域の方々と接するこ  
とができました。それらの経  
験は私の宝であり財産です。  
それらの経験を今後の施設運  
営に生かすことができればと  
考えています。

また、私たちを取り巻く環  
境は大きく変化しています。  
特に新型コロナウイルスによ  
る感染症は、接触を避ける社  
会へと変容する事が求められ

## 第78号

〒204-0023 東京都

清瀬市竹丘3-1-72

清瀬療護園

TEL: 042-493-3235

Fax: 042-493-3234

発行

地域福祉委員会

(広報部門)

ました。支援において重要な  
事はご利用者様との距離感だ  
と私は考えております。ご利用  
者様とはあまり近づきすぎ  
ても良くはありませんし、ま  
た逆に距離を取りすぎて良  
くはありません。新型コロナウ  
イルスはそのご利用者様と  
の距離を遠ざける対応が求め  
られました。しかし支援にお  
きましては新型コロナウイル  
スにより物理的な距離を取る  
事は重要とされましたが、精  
神的な距離を取る必要はない  
事を学びました。制限された  
生活の中で可能な活動を見つ  
けて提供する事を気づかされ  
ました。福祉施設としての社  
会的責務から感染症対策を行  
いながらご利用者様の生活を  
守って行く事の重要性を学び  
ました。



2023/02/01  
鬼に向かって豆をまきます

### 2月1日(水)

#### 節分の集い

少し肌寒い天気の中、  
広場で節分の集いがあ  
りました。台車に乗っ  
た鬼が叫びながらご利用  
者様の前を通り、そ  
の鬼めがけて豆まきを

「成員」であることを認識し、  
施設の内外へ清瀬療護園は発  
展していかなければならない  
と考えております。そのため  
には近隣の希望園などの福祉  
施設や地域の皆様と連携を取  
る必要があります。清瀬療護  
園は感染症対策を行う以前の  
ように、地域の皆さまが気軽



に立ち寄れる福祉施設へと回  
帰できればと考えています。  
ここ清瀬療護園を利用され  
る方々が「利用してよかった」  
と思えるような施設にしてい  
きたいと考えております。  
皆様には今後とも一層のご  
指導ご鞭撻を賜りますようお願い  
申し上げます。

しました。豆まきが終わって  
から甘酒を作り、みんなで飲  
みました。

3月22日(水)

よく晴れた暖かい日差しの中、広場にかわいい動物たちがやってきました。うさぎやひよこ、モルモット、ニワトリなどがやってきて、ご利用者様たちは、膝の上に乗せたり、えさをあげたりして楽しんでいました。時間をずらして、近くの保

動物たちが やって来た



育園の園児も来園して、最初は驚きながらも園児たちは動物たちと触れあっていました。



大好評だったため、また開催したいと思います。

3月1日(水)

ひな祭りイベント



職員のショーを觀賞するご利用者様

ひな祭りイベントとして、職員による出し物『ハンドベルの演奏(エーデルワイス)』と

マジック・ショー』がありました。感染症対策(予防)として、5人のイベント職員が5つのユニットを回りながら出し物を披露するという形をとりました。

マジックショーを見た関良徳様は「剣がおなかに刺さったところがびっくりした。ひもが棒になったり、空箱からハンカチが何枚も出てきたりして、とても面白かった」と話していました。今後も面白い出し物をたくさん企画し、ご利用者様へ披露したいと思います。



職員によるハンドベルの演奏



# 夢が自分の人生を作る

清瀬療護園 職員 熊田香織

みなさま、こんにちは。  
ここ清瀬療護園で働いて9年になります。



WBC (World Baseball Classic)、野球の世界一決定戦、感動しましたね。

大谷翔平選手の言葉…: 『やれるかやれないかではなくて、自分次第』

『人生が夢を作るんじゃない、夢が自分の人生を作るんだ…!』

私も長年想っていた夢に近づくように、今年4月から調理師免許を取るべく、仕事が終わってから夜間専門学校へと通い

始めました。

学校見学で何度か通い、個性ある先生から「親子井」「チャーハン」などの作り方を教わりながら作って試食し、とてもおいしくて楽しかったです。

年齢幅広い生徒たちからも刺激を受け、勉強になります。

調理師免許が取得できましたら、清瀬療護園の行事などで活かされてお披露でき楽しめたらいいな、と思います。

それではみなさま、よろしくお願いいたします。

# まさお 日記

ボクとアヒルと

「クワツ、クワツ、クワツ」

僕は動物が好きだ。小さいころ、動物園に行っただけ、大人になってからは行ってない。2年前に清瀬療護園にヤギ3匹が来たとき、ボクのあげた草(えき)



をたくさん食べてくれてうれしかった。

3月22日(水)のよく晴れた午後、清瀬療護園にかわいい動物たちがやってきた。うさぎやアヒル、ひよこ、ニワトリ、モルモット…、

たくさん小さな動物たち。触ってみると、かわいし、温かい。ボクの子椅子のテーブルの上にアヒルが乗って「クワツクワツクワツ」とボクに話しかけ

た。ボクも合わせて「クワツクワツクワツ」って言った。ニワトリもやってきて「コケコッコー」とあいさつした。ボクも合わせて「コケコッコー」って(心の中で)言った。思わず一緒に鳴いてしま

うくらい、かわいい動物たちだった。

動物園には行けないけれど、清瀬療護園に「ミニ動物園」がやってきてくれて、いつもと違った景色が見れて、体験できて、とても楽しかった。またこんな企画をぜひ、お願いします！  
(清瀬療護園利用者)

# いくの日記

入院生活

2月15日に、トイレで転倒してしまい、骨折してしまいました。痛い痛いって言いながら、職員が一生懸命助けてくれました。そのあと、清瀬の病院でレントゲン写真を撮ったら、先生に「骨折しているから大きな病院へ行っ診てもらいなさい」と言われ、白十字病院へ行ったら「やっぱり左の足を骨折しているので手術したほうがいい」と言われ、白十字病院に入院し手術することになりました。

入院中は、櫻井翔君のテレビドラマやアンパンマンの番組を見たりしていました。

首に点滴をした時は大泣きしてしまい、看護師さんが手を握ってくれたので安心しました。そして手術の日…。

手術の日は朝から食事は何も食べられなくて、水分だけしかとることができませんでした。とても不安だったけど、手術は無事に終わり、ほっとしました。そのあとはリハビリ。毎日、30分ぐらいがんばってやりました。



足に骨がよくつく機械もやりました。私はうまくしゃべれない

ので、看護師さんに話が通じないことがあって、看護師さんが文字盤を作ってくれたので、それで会話しました。看護師さんありがとう。文字盤があったから、看護師さんともうまくコミュニケーションでできたよ。

看護師さん達は私のことをいろいろとやってくれました。「お尻が痛くなるから」と言って、毎日、ベッドで右向きや左向きに体位交換してくれました。私のお金でペットボトルの「おいしいお茶」を買って飲んだり、プリンを買って食べたりしました。病院で食べたプリンはとてもおいしかったです。

結局、20日間ぐらい入院しました。そして退院する日、看護師さん達と別れるのがつらくて、大泣きしてしまいました。本当に看護師さん達、いろいろとやってくれてどうもありがとうございました。これからは骨折をしないように気をつけます。

☆

3月22日に『可愛い動物とのふれあいイベント』で、私はひよこちゃんを何匹も、膝に乗せて抱っこして可愛いかったです。すごく可愛くて嬉しかったです。ひよこちゃんの他にも、うさぎちゃんやアヒルやにわとりなどがいたけど、ちょっとこわかったので触れなくてゴメンね。また、ひよこちゃんを抱っこしたいです。

(清瀬療護園 利用者)



清瀬療護園は地域とつながり、支えあい、開かれた施設であることを大切にしていきます。  
私は地域福祉委員の一人で、どうやってそれが出来るのかを自分なりに考えた結果、この「ほのほの通信」を

### 武川の地域交流バンザイ 清瀬療護園 地域福祉委員会 武川晃二

#### 第1回



活用することになりました。

記念すべき第1回目は、清瀬駅南口の「ふれあい通り」にある『小糸うどん』の紹介です。店主さんにインタビューしました。(質問者は武川)

「なぜ清瀬の商店街にお店を開こうと思ったのですか？」

(店主)私の父がね、昭和39年頃、東京オリンピックの頃に、ここで商売を始めた。それで、その後を引き継いでいる感じだね。

「創業何年ぐらいでしょうか？」

(店主)お店自体は60年ぐらい経ちますかね。たぶん一番この通りでは古いと

### 誕生日を迎えて

清瀬療護園 利用者 木村美智子



4月で82才になりました。清瀬療護園に入っています。

もう47年たちます。清瀬療護園では楽しい思い出がいっぱいあります。

前の古い建物の頃、園には「音楽クラブ」があって、部長をやったこともあり、楽器は太鼓をやっていました。清瀬市の市民祭りに参加したり、近くの小学校に子供たちを

をしに行ったりしたこともあり、楽しかったです。

それ以外の趣味として、刺子をやるのが好きです。池袋で行われた展示会では受賞したこともあります。

小さい子供たちも大好きです。近くの保育園の子供達が遊びにきても嬉しそうです。また遊びに来てくれると嬉しいな。では皆さんお元気で。

思いますよ。

「どんな手打ちうどんですか？」

(店主)親から譲り受けたやり方です。

私は川越が出生地ですからね、武州うどんとして、やっています。味は武蔵野うどんとまるつきり作り方も一緒です。それから、それと同じだと思いますよ。

「うどん屋を営業していて、嬉しかった出来事があれば教えてください。」

(店主)普通にやっていたら、特別に嬉しい事はないんだけど、どっちかと言うと寂しい出来事の方が多いかな。ここ3年間ぐらいで、コロナ禍で飲食店が随分と撤退し、やめちゃったお店も多いですね。

「確かに、商店街にお店がなくなったり、マンションが建ったりしているから寂しい気持ちになります。」

(店主)これは時代の流れでしょうがないし、止めようがない。それで手打ちうどんの業界も、作る人が高齢になっちゃって、今まで現役でバリバリやっていた方々が、一人やめ、二人やめてって感じで段々少なくなってきたのがちょっと寂しいかな。まあ、この年になると毎日毎日、健康でお店がやれるだけでも、本当に楽しいし、嬉しい。商売は、お金儲けどうのこうのだけではなく、お金の健康が続く限り続けたいなと。家内と二人でのんびりやっていますからね。無理しないで、マイペースでやっていますよ。

「僕の地元も清瀬です。」

(店主)どこの生まれ？松山？

「ハイ、実家が「小糸うどん」の裏にあるマンションです。」

(店主)ああ、あそこ。一実は、20年位前に親のおつかいで、このうどんを買った事が何回かあります。

(店主)えー？驚いた様子

「家族が多くて一回の買物でうどんを10玉買っていました。」

(店主)そのマンション？ お父さんか、お母さんが池袋の本屋さんに勤めていた？

「いえ、違います。」

(店主)違うか、あの子とは違うか。うどんを買う際に、よく麺つゆをサービスしてくれたのを今でも覚えています。

(店主)ああ、そう。今でもそのマンションにいるの？

「今は、実家にいないですが、清瀬市内に住んでいます。最後にどんな「うどん屋さん」なのかを教えてください。」

(店主)うちのお店はテイクアウトで、うどんパックがあるよね。それを買えばすぐに食べられる。それが意外と便利でよく買ってくれる人がいます。一本当に今日は、お忙しい中インタビューを引き受けてくださり、どうもありがとうございました。

インタビュー後に、久々に小糸のうどんを食べました。うどんは歯応えがありコシの入った、昔と変わらない美味いうどんでした。(支援員)